第76回 “社会を明るくする運動”

今泉自治会　住民集会「講演と音楽のゆうべ」開催

７月19日（日）第76回“社会を明るくする運動”の一環として、今泉自治会といずみえんの共催による「今泉住民集会 ～講演と音楽のゆうべ～」がいずみえん１階ホールにて開催されました。

第１部の講話:池上警察署生活安全課の糸瀬謙介氏を迎え「少年犯罪の防止」をテーマにお話しいただきました。犯罪や非行のない明るい社会づくりについて、改めて意識を深める貴重な時間となりました。

第２部の演奏:エレクトーン奏者・川越亮氏による心温まる演奏が行われ、会場は美しい音色と深い感動に包まれました。

当日は親子連れを含む多くの皆様にご参加いただき、地域の安全と絆について共に見つめ直す、大変有意義な夏のひとときとなりました。（今泉自治会　柴田　ひとみ）


講演の風景

矢口二丁目16号館自治会 ミニ集会開催

７月14日（火）ミニ集会を開催し32名の参加がありました。例年どおり６分区二班の保護司、津田陽子様、坂本準一様、藤本誠子様を迎え、活動報告等を話していただきました。

「小学校 ～それは小さな社会～」の動画では、新一年生を歓迎するための演奏会ができるまでの過程で、こども達の挑戦と落胆、再挑戦と努力、指導のもとみんなで話し合い、思いやり助け合って練習に励み、その結果大きな喜びを感じる様子が描かれていました。こうして健全な育成が行われていくのでしょう。

津田さんは、今年度の小さいチラシの見出し「保護司になるなんて思ってもみなかった」ことについて自分自身がそうであると話されました。家族に障害があって、矢口養護学校を卒業、時が過ぎ生活時間に余裕ができてきたころ保護司のお話があり、迷い考えて引き受けて８年になりますと語られました。

最後に「更生保護ボランティアのことを知ることから始まり、安全・安心なまちづくりにみなさんも一歩踏み出してみませんか」と呼び掛けて、ミニ集会は終わりました。

古市町会 住民集会開催

８月15日（土）古市町会の東八幡神社社務所にて「社会を明るくする運動 ミニ集会」を開催いたしました。本運動は、法務省が主唱する全国的な啓発活動で、犯罪や非行の防止と過ちを犯した人の立ち直りについて理解を深め、明るい地域社会を築くことを目指しています。

当日は、まずＰＲ動画をご覧いただき、その後警視庁統計から犯罪発生を分析しました。昨年度の矢口地区の犯罪発生率は大田区平均を大きく下回っている反面、自転車盗難、詐欺が急増していることをお話しし、日頃の防犯協力への感謝を伝えられました。併せて保護司の活動事例もお話しし、対象者と根気強く対話を重ねる中で見られた心の変化や、活動のやりがいについてお話ししました。

今後も安全で安心なまちづくりに努めてまいります。保護司活動にご興味を持たれた方は、大田区更生保護サポートセンターまでご連絡いただければ幸いです。

（古市町会　坂本　準一）

朝寺子屋開催

７月21日（火）～25日（土）の５日間、矢口文化会館にて朝寺子屋を開催し、多くのこどもたちが夏休みの居場所として参加しました。

参加費は一回100円。宿題をしたり、みんなで作った温かいおにぎりやみそ汁を食べたりしながら、楽しく過ごしていました。学年の違う友達とも交流でき、家庭で過ごすだけでは得られない、夏休みの大切な思い出にもなっているようです。

今回で９年目となったこの活動は、地域のつながりを生み、こどもたちがお互いに見守り合うきっかけにもなっています。

（矢口南町会　彦部　幸子）


朝寺子屋の様子

大田の戦争資料展開催

８月10日（月）～12日（水）の３日間、大田区民プラザにて「第47回大田の戦争資料展」が開催されました。戦時中の疎開、原爆投下、防空壕等の写真やスケッチの他、戦時中の備品や兵士の所持物などの実物、シベリア抑留関連の資料も展示されました。

大田区には政府指定の軍需工場が数カ所あり、攻撃目標となりました。多摩川沿いの矢口地区には電気・機械部品を製造していた北辰電機、日本軍向け戦車を製造していた三菱重工業がありました。後者は戦後も米軍向け戦車修理等を継続していましたが、現在はともにマンション群に変わっています。

酸鼻を極める展示資料も多くありましたが、これらを通じて平和を考える機会になってほしいものです。



多摩川土手に残る工場記念碑

編集委員長　田﨑晃（矢口南）　副委員長 渡邉克彦（リバプレ）編集委員　安美留美津子（16号館）、板垣トメ子（下丸子東）

多摩川小学校　校内研究と拡大学校運営協議会

本校では、今年度より「自分の言葉で考え、表現する児童の育成～言葉による見方・考え方を働かせる授業づくりの工夫～」を主題とし、国語科の校内研究を進めています。

７月21日（火）の拡大学校運営協議会では、こどもたちの「表現力の向上」をテーマに、家庭や地域の皆様と熟議を重ねました。皆様との対話は、私たち教職員にとって自身の指導を見つめ直す貴重な機会となり、授業改善や指導力の向上につながる多くの気付きを得ることができました。今後本校では、何度も育ちを更新させながら、学ぶことで楽しさを見つけられるこどもたちを育てていきたいと考えています。これからも家庭・地域と深く連携しながら、こどもたちの心身の健やかな成長を支えてまいります。（副校長　吉川　貴雄）


グループディスカッションの様子

１００歳　おめでとうございます！

今年度、矢口特別出張所管内で100歳を迎えられた方が、４名いらっしゃいました。おめでとうございます。

なお大田区内では男性が33名、女性が209名で計242名いらっしゃいました（令和８年６月５日現在）。

この度、そのうちの一人でいらっしゃる丸山登久男さんにお話しを聞くことができました。

100年間、ずっと大田区にお住まいの丸山さんですが、会社員時代には海外で勤務されていたご経験も。昔からお好きな日本酒を現在でも楽しんでいらっしゃるそうです。ご夫婦揃ってインタビューに答えていただいた丸山さん。「夫婦で過ごす時間が一番楽しい」と話されていたのが印象的でした。我々の憧れの存在です。


丸山さんご夫婦

体 操 教 室
～ザ・リバープレイス自治会～

毎月第４月曜日10時～11時、敷地内集会室で体操教室を開催しています。中高年の参加も多く、25名程がスポーツインストラクター、岩崎大貴氏の指導のもとストレッチ体操、タオル体操そして頭の体操を椅子に座って行います。始まりは2013年11月の自治会シニア向け「すずかけの会」の体操教室。コロナ禍で一時中断しましたが、自治会福祉活動部後援のボランティア活動として再開。参加者が元気でユーモア溢れる楽しい時間が末永く続くよう願っています。

（ザ・リバープレイス自治会　小林　章子）


体操教室の様子

東急線の車内で紹介されました
～今泉双盤念仏～

東急池上・多摩川線を走る「きになる電車」は、戦後20年ほど東急線を走った黄色と紺色の塗色を再現したラッピング電車で「沿線の魅力と情報を発信する」方針に基づいた独自の車内広告が展開されています。

７月末から「大田区の歴史・文化・風致」を特集、歴史的建造物・行事・景勝地が多数取り上げられ、今泉延命寺双盤念仏が「独特の節回しで唱える念仏の奏楽」として紹介されました。


車内展示の様子

たまちゃんバスニュース

たまちゃんバスは地域で支え「守り」「育てる」コミュニティ交通として、平成21年に運行を開始しました。４年連続で収支率50％を下回らないことが運行継続条件ですが、人件費の高騰などを背景に運行経費は増加しており、収支率は非常に厳しい状況です。（※収支率:運賃等収入÷運行経費）

持続可能なたまちゃんバスの運行を実現するためには、ご乗車いただくのはもちろんのこと、地域に支えていただくことが必要です。

たまちゃんバス応援寄付金制度を開始しますので、たくさんの応援をお待ちしております！



◆たまちゃんバスについて

・矢口下丸子地域を巡回
・中学生以上　200円
・小学生まで　100円

詳細はこちら

◆たまちゃんバス出展のイベント情報

下丸子オータムフェスタ
10月25日（日）10時～15時

◆たまちゃんバス運行実績

	令和６年度	令和７年度
年間利用人数	65,236人	67,744人
収支率	50.2%	41.6%

◆たまちゃんバス応援寄付金について

10月１日（木）開始！

皆さんたまちゃんバスを応援してね！

詳細はこちら

吉田由香利（古市）、阿部雅之（下丸子四丁目）、森英男（今泉）